

学びの軌跡

～挑戦と成長～

～認めあう学年～

学年通信 第24号

令和5年7月14日

発行者：春名 将之

高校のオープンスクールが始まります！



年度当初からお伝えしていました、高校のオープンスクールですが、約半数の2年生が申し込みをしてくれています。早いうちから、オープンスクールに行くことは、学習意欲・課題の提出意欲の向上につながったり、キャリア学習に具体性が出てきたりとメリットが多いです。ぜひ、2年生のうちにオープンスクールの参加よろしくお願ひします。

さてオープンスクールに行くにあたって、注意事項をお伝えします。初めてのオープンスクールですので、よく確認しておきましょう。

□ 日中の一員であることを意識して行動する。

オープンスクールは、高校の様子を知る良い機会ですが、高校の先生も皆さんのことを知る良い機会です。日中中学校の一員で、オープンスクールに参加していることを忘れないよう行動しましょう。高校の先生の指示をよく聞いて動いたり、説明を真剣に聞いたりしましょう。また、服装・頭髪についても身だしなみを整えて参加しましょう。相手にどのような印象を与えるのか考えましょう。

□ できる限り公共交通機関を使って参加する。

高校入学後は公共交通機関を使って通学することになります。そのこともイメージするために、できる限り電車やバスなどを使ってオープンスクールに向かいましょう。

□ スマートフォンは必ず電源を切る

初めての場所で、スマートフォンや携帯電話を持っていきたい人もいます。オープンスクール中は電源を切って鞆の中へしまい、オープンスクール前後も、歩きスマホなどのマナー違反な行為をしないように気を付けて使用しましょう。

□ 準備物を確認し、忘れ物をしない。

オープンスクールでは、学校ごとに準備物が違います。申し込みをした際に返送されるメールやチラシに持ち物が書いてあります。必ず、確認をして忘れ物をしないようにしましょう。



《一般的な持ち物リスト》

- かばん 筆記用具 上履き（スリッパ or 体育館シューズ） 下足入れ袋
メモ帳・ノート クリアファイル 交通費・お金 その他高校が指定しているもの

県立高校 R6年入試(今年の3年生が受ける入試)変更点！ ☆.....☆.....☆

7月7日（金）に県立高校R6年入試の大綱（概要）が発表になりました。（今年の3年生の入試）今年度は多くの変更点がありました。みなさんが受けるR7年入試も変更点があるかもしれませんが今年の変更点をお伝えします。（ただし、近隣の高校に関わるもののみ紹介します。）

① 和気閑谷高校(普通科)・呂久高校(普通科)が全県学区になりました。

今までは、東備学区だったため、岡山市などの別の学区の生徒は定員の5%以内での合格となっていました。今年から全県学区となりました。また、普通科の特別入試で定員の50%まで内定が出ます。

② 瀬戸高校の5%枠が20%に拡大。特別入試の実施。

瀬戸高校の5%枠が20%に拡大しました。すなわち、他の学区の生徒の枠が増えました。また、定員の50%まで2月に実施する特別入試で内定を出すことになりました。

③ 備前緑陽高校の特別入試の内定割合が60%⇒80%に変更。

2月に実施する特別入試の内定割合が80%に増えました。160人の募集ならば、特別入試で128人、一般入試で32人が合格（内定）することになります。また、特別入試の学校独自問題が小論文から作文に変わりました。